

目指せ!

1人1日当たり77グラムのごみ減量!

ごみの減らし方を教えます

問 まちづくり支援課 ☎ 6726

本市は、平成29年度における1人当たりのごみ排出量が県内40市町村中、14番目に多い自治体です。市では、平成29年10月に「第3次十和田市ごみ減量行動計画」を策定し、市民の皆さんとともに、ごみの減量と資源化に取り組んでいます。

令和元年度までの目標（第3次十和田市ごみ減量行動計画より）

1人1日当たりのごみの排出量（家庭系+事業系）
920g以下



ヘルーちゃん
(青森県ごみ減量応援キャラクター)

目標達成まであと77g(※)の減量!

※平成29年度実績値との比較

Q どうしてごみを減らさないといけないのでしょうか?

A ごみを処分する際には、環境への負荷や多額の費用がかかります。次世代の子どもたちに、豊かな自然環境に恵まれた十和田市を引き継ぐために、一人一人が「もったいない」の意識を持って、ごみの減量とリサイクルに取り組むことが必要です。

ごみが減らないと、このような影響があります!

- 1 天然資源の枯渇
ごみを収集運搬したり、処理する際に石油などのエネルギー資源が使われています。
- 2 地球温暖化が進む
ごみを燃やすと温室効果ガスの二酸化炭素が発生します。
- 3 最終処分場の短命化
燃えないごみなどの埋め立て地には限りがあります。
- 4 ごみ処理費用がたくさん必要です
ごみ処理費用は皆さんの税金で賄われています。

ごみ減量のために

市民の皆さんに取り組んでいただきたい

3 STEP



ゴミヘルズ
生ごみ減量のために、3つの「きる」を
教えてくれる心優しきロックバンド
(青森県食品ロス削減キャラクター)

ごみ減量化の推進
3つの「きる」で生ごみダイエット

STEP 1

POINT1

食材は使い「きる」

食材は必要な分だけ購入し、無駄なく使いましょう。

POINT2

料理は食べ「きる」

作り過ぎに注意! 料理は食べきれぬ量を作りましょう。残ってしまったら、冷凍保存かアレンジを加えて違う料理にしてみましょう。

POINT3

生ごみは水気を「きる」

燃えるごみの4割が生ごみです。その生ごみの7割は水分です。水気を切ることが減量の近道になります。三角コーナーや水切りネットを利用しましょう。

さらにもうひと手間!



野菜や果物の皮は水気を切るために、一晩乾かしてからごみ箱へ



水切りネットをぎゅっと絞ってごみ箱へ